

2024年3月期 第1四半期 決算説明会

東海旅客鉄道株式会社

2023年7月28日

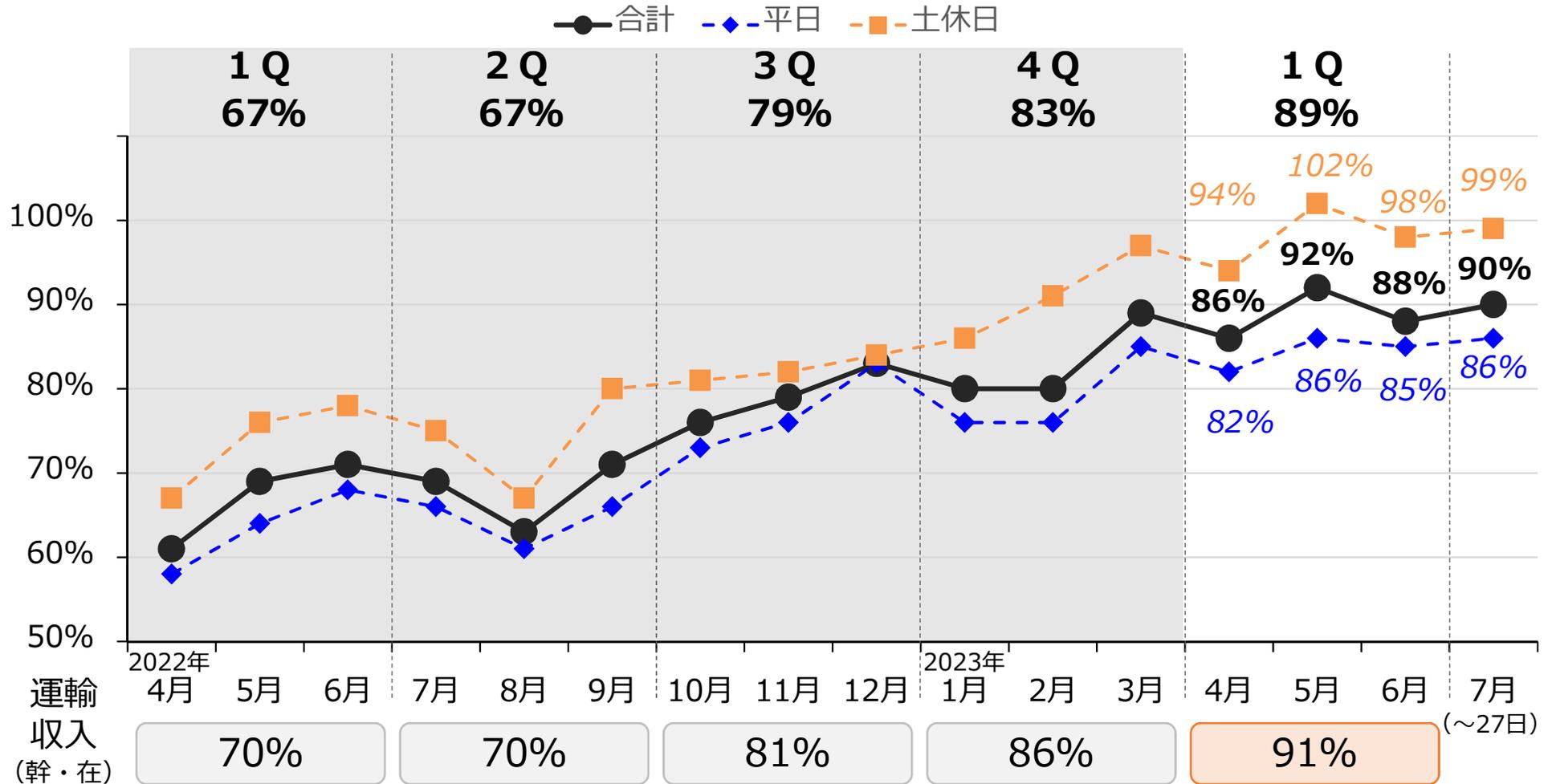
目次

- I 2024年3月期第1四半期 決算実績等 … 3
- II 収益の拡大に向けた取組みの状況 … 7
- III 中央新幹線計画の状況 … 11

I 2024年3月期第1四半期 決算実績等

東海道新幹線のご利用状況と運輸収入

■ 東海道新幹線のご利用状況（東京口、2018年度比）



※2018年度比

- 輸送量は平日・土休日ともに前第4四半期よりも高い水準で推移
- 特に、ゴールデンウィーク期間を中心とする土休日のご利用が回復を牽引
- その結果、第1四半期の運輸収入は、業績予想を219億円上回る

損益計算書（連結）

5

（億円）

	2022年度 1Q累計 A	2023年度 1Q累計 B	増減 (B-A)	主な増減要因
営業収益	3,093	3,950	857	
運輸業	2,510	3,250	739	(+) JR東海(運輸業)
流通業	314	377	63	(+) 東海キヨスク、JR東海パッセンジャーズ、 JR東海高島屋
不動産業	183	196	13	(+) 東京ステーション開発、JR東海関西開発
その他	503	535	31	(+) JR東海ホテルズ、JR東海ツアーズ
営業費	2,258	2,485	227	
営業利益	835	1,465	629	
運輸業	773	1,354	580	(+) JR東海(運輸業)
流通業	13	26	12	(+) 東海キヨスク、JR東海高島屋、 JR東海パッセンジャーズ
不動産業	50	58	8	(+) 東京ステーション開発、JR東海関西開発
その他	△0	23	23	(+) JR東海ホテルズ、JR東海ツアーズ
経常利益	668	1,293	625	
親会社株主に帰属 する四半期純利益	470	905	435	

※セグメント別の内訳はセグメント間取引の相殺消去を行う前の数値です。内訳の合計値は営業収益・営業利益と一致しません。

損益計算書（単体）

6

（億円）

	2022年度 1Q累計 A	2023年度 1Q累計 B	増減 (B-A)	主な増減要因
営業収益 (運輸収入)	2,534 (2,358)	3,273 (3,098)	738 (740)	新幹線+709、在来線+30
営業費	1,738	1,897	158	
人件費	440	454	14	ベースアップ等
物件費	720	847	127	
動力費	126	164	37	単価の増等
修繕費	180	233	52	大規模改修引当金取崩し終了等
業務費	412	450	37	発売手数料の増等
租税公課	97	104	7	
減価償却費	481	491	9	
営業利益	795	1,375	579	
経常利益	622	1,201	578	
四半期純利益	435	851	416	

Ⅱ 収益の拡大に向けた取組みの状況

移動需要の喚起に関する主な取組み

機運醸成

- ◆ 「会いにいこう」キャンペーン (2023年2月～)



キャンペーンポスター



「会いたい顔が、目的地。」篇
CM動画の一部

ビジネス

- ◆ 貸切車両パッケージの拡販



麒麟ビール様による
新商品プロモーションの様子



日本Xreal様による
新商品プロモーションの様子

観光

- ◆ 「ラブライブ！サンシャイン!!」
沼津ゲキ推しキャンペーン！
(2023年3月25日～8月31日)



沼津駅北口の様子



臨時急行「ラブライブ！
サンシャイン!!」号の車内装飾

- お客様の「会いに行く」をこれからも支えていく
- ビジネス、観光ともに、新しい発想による「収益の拡大」の取組みを進める

「ジャパン・レール・パス」の 商品内容の拡充および価格改定

○概要

- 「のぞみ・みずほ利用券」を乗車前にご購入いただくことで、「ジャパン・レール・パス」で「のぞみ」もご利用可能に
- これまでのサービスアップに加えて、商品内容を拡充することに伴い、価格の改定を行い、JR指定販売店・代理店、専用サイトでの発売価格を統一

○実施時期（予定）

2023年10月1日購入分～

【改定前後の価格（7日間用）】

（単位：円）

種類	【現行】		【改定】	改定額
	代理店等	専用サイト		
普通車用 (大人用)	29,650	33,610	50,000	+20,350
グリーン車用 (大人用)	39,600	44,810	70,000	+30,400

※改定額は代理店等の【現行】と【改定】の差額

「エクスプレス予約」における 価格体系の見直し

○概要

- 「E X旅先予約」、「E X旅パック」や、ご乗車日の1年前予約など、一層のサービス充実を機に、「エクスプレス予約」は新たな価格体系へ移行

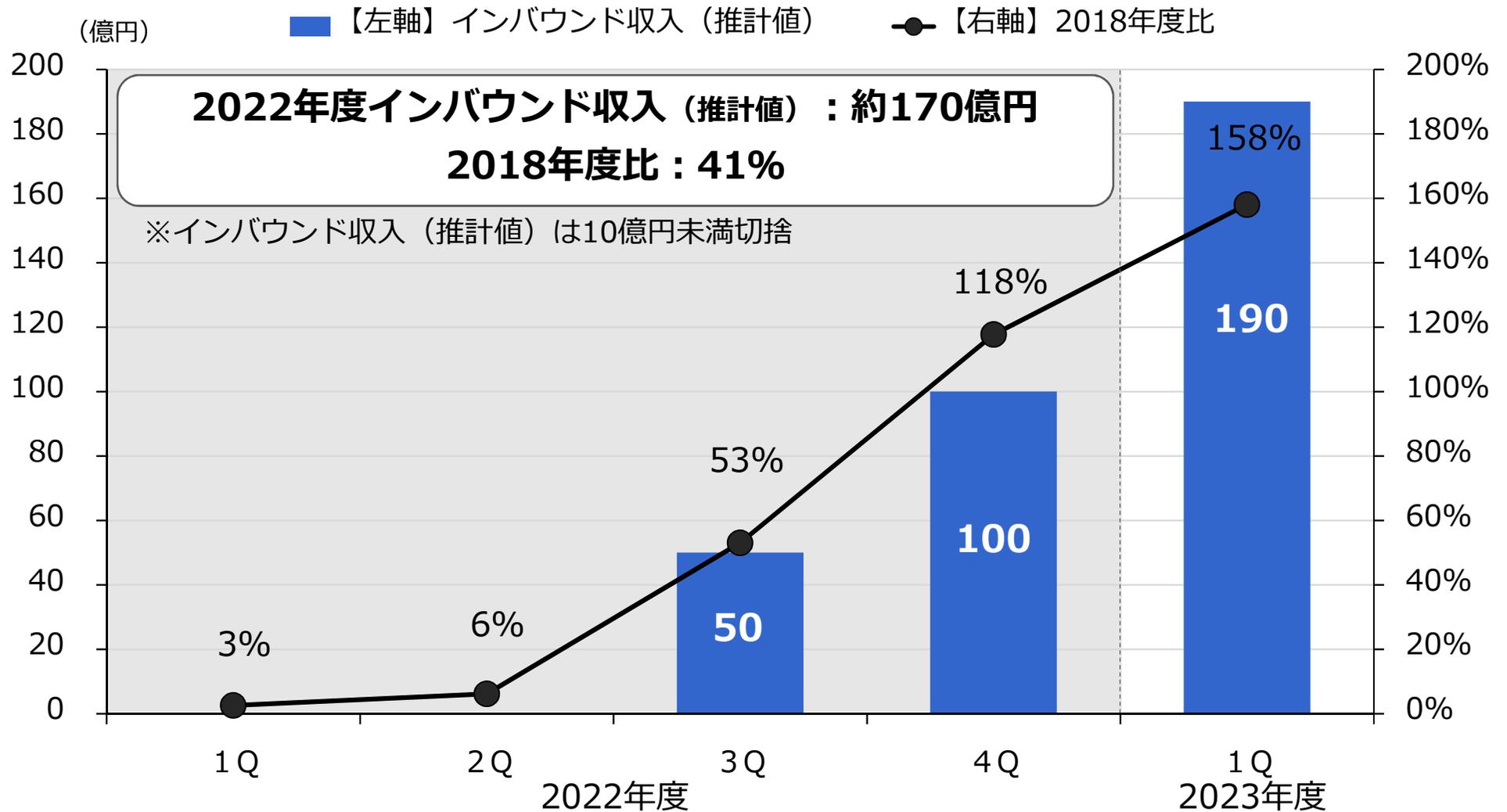
○実施時期（予定）

2023年秋を目途に実施

【主な区間の改定前後の価格（おとな1名・片道・「のぞみ」普通車指定席・通常期）】（単位：円）

主な区間	所定運賃・料金	【現行】	【改定】	改定額
東京 ⇔名古屋	11,300	10,310	10,880	+ 570
東京 ⇔新大阪	14,720	13,620	14,230	+ 610

インバウンドの状況



- 本年7月より社内の体制も強化し、効果的な宣伝・セールスや旅行者の様々なニーズを満たす商品展開に取り組む
- 当社エリアへの誘客強化を図り、増加傾向の訪日外国人の需要を取り込んでいく

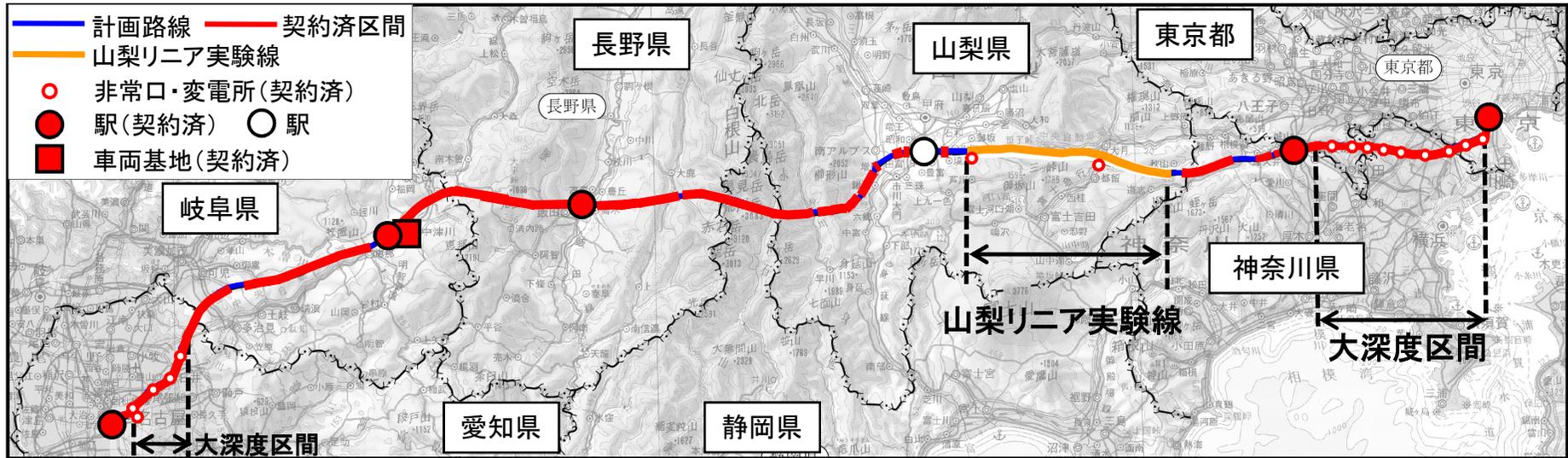
Ⅲ 中央新幹線計画の状況

中央新幹線計画の状況①

【本体工事契約箇所 (2023.6.30現在)】

※本体工事契約区間等は概ねの位置を示したものです。

※この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の100万分の1日本を複製したものです。(承認番号 平25情複、第310号)



名古屋駅 中央東工区
薬液注入工 (削孔)



瀬戸トンネル
本坑掘削工



利根川公園部高架橋
全景



第一首都圏トンネル 梶ヶ谷工区
調査掘進

【南アルプストンネル静岡工区】

《大井川の水資源に関する取組み》

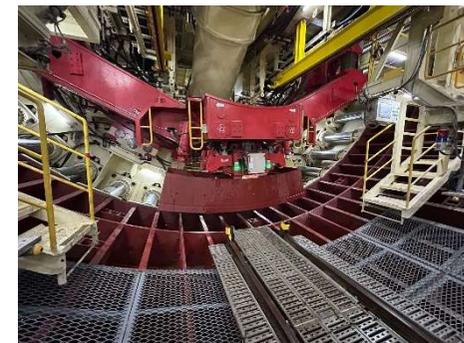
- 国土交通省主催の「リニア中央新幹線静岡工区 有識者会議」が2021年12月に取りまとめた「大井川水資源問題に関する中間報告」を踏まえて、地域へのわかりやすい説明、リスク対応とモニタリングの具体化、工事の一定期間、例外的に県外へ流出するトンネル湧水量と同量が大井川に戻す方策の実現等に取り組んでいます。
- このうち、発電のための取水を抑制し、大井川に還元する方策について、本年6月に発電事業者との協議を開始しました。

《南アルプスの生態系等の環境保全》

- 昨年6月から、国土交通省主催の有識者会議において議論が進められており、12月に提示された論点①沢の水生生物等への影響、②高標高部の植生への影響、③地上部分の改変箇所における環境への影響、について説明しています。

【大深度区間のシールドトンネル工事】

- 大深度地下をシールドマシンで掘削する第一首都圏トンネル梶ヶ谷工区・東百合丘工区において、調査掘進を進めるとともに、小野路工区において、本年7月に調査掘進を開始しました。



第一首都圏トンネル 小野路工区
発進の準備

本資料に記載されている将来の計画や見込み数値等は、当社が現在入手可能な情報に基づく見通しであり、リスクや不確実性を含んでいます。潜在的なリスクや不確実性の例としては、経済動向や事業環境、消費動向、当社および子会社における他社との競合状況、法律や規制等の変更等が挙げられます。

(参考) 主な子会社の実績 (連結修正前)

○実績

(億円)

	営業収益			営業利益			経常利益		
	2022年度 1Q 実績	2023年度 1Q 実績	前期比	2022年度 1Q 実績	2023年度 1Q 実績	前期比	2022年度 1Q 実績	2023年度 1Q 実績	前期比
JR東海高島屋	125	133	106.6%	10	13	133.6%	10	14	132.0%
JRセントラルビル	77	79	102.4%	8	9	108.6%	8	9	107.7%
JR東海ホテルズ	46	61	131.9%	△5	5	—	△4	5	—
日本車両	226	206	91.5%	12	13	107.9%	14	15	110.9%

日本車両 四半期純利益 13 15 115.8%

(参考) 輸送量の推移 (月次利用状況)

◆月次利用状況 Monthly passenger volume

(%)

期間 Period	新幹線 Shinkansen						在来線 Conventional Railway		
	東京口 Tokyo Gate					大阪口 Osaka Gate	特急等 Express	名古屋近郊 Nagoya Area	
	合計 Total	のぞみ Nozomi	ひかり Hikari	こだま Kodama	平日 Weekdays	土休日 Weekends			合計 Total
23/04	140 (86)	134 (87)	169 (87)	138 (81)	140 (82)	140 (94)	142 (88)	162 (85)	111 (89)
23/05	134 (92)	131 (94)	149 (92)	132 (87)	135 (86)	135 (102)	136 (95)	137 (90)	110 (88)
23/06	125 (88)	123 (90)	138 (90)	121 (83)	125 (85)	126 (98)	126 (93)	123 (85)	105 (90)
23/04-06	133 (89)	129 (90)	151 (90)	130 (84)	133 (84)	134 (99)	134 (92)	139 (87)	109 (89)

◆多客期利用状況 (東京口) Passenger volume during the peak holiday seasons (Tokyo Gate)

・ゴールデンウィーク “Golden Week” Holidays

期間 Period	新幹線 Shinkansen				在来線 Conventional Railway	
	合計 Total	のぞみ Nozomi	ひかり Hikari	こだま Kodama	特急等 Express	名古屋近郊 Nagoya Area
4/28~5/7	126 (101)	122 (103)	139 (98)	132 (93)	128 (90)	113 (91)

(※1)カッコ内は、新型コロナウイルス感染症の影響を受ける前の2018年度との比較。

Note1: Numbers in parentheses are compared to FY2018 (before the decline due to the COVID-19 pandemic).

(※2)新幹線・在来線特急等は特定の駅間における月累計断面輸送量の対前年比。

在来線名古屋近郊は自動改札集計による乗車人員合計の対前年比。※多客期においては定期外の乗車人員に限る。

Note2: The data of the Shinkansen and Express is based on the total passenger volume of each month at certain points.

The data of the Nagoya area is based on the passenger ridership of each month counted by automatic ticket gates.

※The data of the Nagoya area regarding the peak holiday seasons is based on the passenger ridership excluding commuter passes.

(参考) 月次営業概況 (商業施設・ホテル)

◆商業施設 Commercial Facilities

	ジェイアール名古屋タカシマヤ、及び タカシマヤ ゲートタワーモール JR Nagoya Takashimaya and Takashimaya Gate Tower Mall	
期間 Period	売上高合計 2024年2月期 (百万円) Total Sales FY2023: 2023.3~2024.2 (Millions of Yen)	前年同月比 (%) YoY Comparison
23/03	16,828	112.1
23/04	14,319	110.2
23/05	14,548	110.3
23/06	14,477	107.9

◆ホテル Hotels

	名古屋マリオットアソシアホテル Nagoya Marriott Associa Hotel		名古屋JRゲートタワーホテル Nagoya JR Gate Tower Hotel (※)	
期間 Period	稼働率 (%) Occupancy Rate	前年同月比 増減 YoY Inc./Dec.	稼働率 (%) Occupancy Rate	前年同月比 増減 YoY Inc./Dec.
23/04	72.7	20.7	84.7	13.1
23/05	71.4	8.9	81.3	3.3
23/06	72.2	4.2	82.8	-2.1

(※) 各月の数値は速報値のため、確定値とは異なる場合がある。

Note: The number for each month comes from a quick estimation, which might differ from the actual results.